

# アズーリ通信

## 1周年記念特別号

- 01 アズーリの丘ごきそ  
おかげさまで1周年!!
- 03 1周年記念座談会  
アズーリの丘ごきそ  
1年の歩みとこれから
- 07 アズーリの丘ごきそ  
1年のアルバム
- 09 みんなの広場
- 10 アズーリの丘ごきそ  
周辺マップ
- 11 1周年記念イベント
  - ①じゃんけん大会
  - ②アズーリランキング編集後記

医療介護複合施設 アズーリの丘ごきそ

■ごきそ腎クリニック

■介護老人保健施設 ごきその杜

■介護付有料老人ホーム メロウごきそ





# 年!!

**アズーリの丘ごきそは  
おかげさまで1周年を迎えました。**

皆さまへの感謝の気持ちを、すべてのスタッフの笑顔に込めました。  
これからも全員が力を合わせて、患者さん、ご入所者、ご入居者、地域の  
皆さんに愛され、信頼される施設をめざすとともに、さらなる飛躍への  
一歩を踏み出します。



## アズーリの丘ごきそ

# 1年の歩みとこれから

アズーリの丘ごきそ開設1周年の節目にあたり、「ごきそ腎クリニック」、「介護老人保健施設ごきその杜」、「介護付有料老人ホームメロウごきそ」の各管理責任者および各師長が一堂に会し、座談会を開催しました。1年間の歩みを振り返るとともに、医療介護複合施設のメリット、これからのアズーリの丘ごきそについてそれぞれの立場から語り合いました。

### アズーリの丘ごきそが目指すもの

— 宮崎先生はアズーリの丘ごきそ全体の責任者として、どのような施設を目指してこられましたか。

**宮崎** アズーリの丘ごきそは「医療がすぐ近くにある安心の暮らし」をコンセプトに、生寿会がこれまで培った高齢者医療・介護、透析医療のノウハウを結集した新しいスタイルの施設です。特に重看護・重介護が必要な高齢者や通院困難な透析患者さんのために、医療・介護・生活を一体的に支援できる施設を目指しました。2年目を迎え、安心の暮らしはもちろん、楽しさや遊びの要素も提案していきたいと考えています。

— 生寿会におけるアズーリの丘ごきその位置づけについて、ごきその杜の施設長であり生寿会会長の酒井先生にお伺いします。

**酒井** 生寿会はかかわる病院を核として、介護施設を併設した透析施設を名古屋市とその周辺地域で展開することで透析患者さんの高齢化に対応してきました。アズーリの丘ごきそは時代のニーズに対応しながらも、生寿会ならではの医療・介護サービスのあり方を具現化したものであり、生寿会の理念を社会に提示

することができたと思います。

— 岡崎さんは開設準備室長として施設の立ち上げに尽力されましたが、ご苦労もあったのではないですか。

**岡崎** 確かに準備は大変でしたが、改めて生寿会の総合力を実感することができました。開設当初は老人保健施設ヴィラかわなからの応援スタッフ12名が新規採用の未経験者を含めた指導にあたってくれました。生寿会の総合力をベースに、経験豊富な各師長が軸となり、着実に軌道に乗せることができました。幸い3施設とも短期間で順調に利用者数を伸ばすことができ、ほっとしています。

### 各施設の取り組みと成果

#### ごきそ腎クリニック 新たなチャレンジと情報発信

— 各施設の取り組みと成果についてお伺いします。まずごきそ腎クリニックからお願いします。

**宮崎** 「安心で快適な透析」を実現するために、生寿会として初となる三つの試みを行いました。一つは「上質空調環境」であり、一定の温度・湿度に保たれた血液浄化センターで、患者さんは空調



ごきそ腎クリニック 院長  
宮崎 高志

振り返ればあっという間でしたが、新しいチャレンジができた1年でした。ここまで順調に運営できたのも、連携協力先や地域の皆さん、スタッフのおかげだと感謝しています。



ごきそ腎クリニック 師長  
高橋 れい子

この1年でスタッフは環境にも慣れ、着実に成長してきています。自動化コンソールや電子カルテなどの素晴らしいハードに負けないよう、ソフト面の充実に力を入れています。



の風を感じることなく血液透析や血漿交換療法が受けられます。名古屋大学大学院環境学研究科から機材をお借りして測定したところ、客観的にも上質な環境を達成していることが証明され、この結果は日本アフェーシス学会東海学術集会で発表しました。チャレンジの二つ目が透析の自動化、三つ目が電子カルテと透析情報管理システムの統合です。これらの試みは業務の効率化と安全性を増し、結果として生じた余剰時間とマンパワーを重看護・重介護が必要な透析患者さんにあてるために必須でした。この成果の一部は、今年1月の「透析情報管理システムセミナーin NAGOYA」で講演、2月の生寿会職員研究発表会で発表しました。生寿会の取り組みを発信できる施設を目標としていたので、成果を示すことができよかったと思います。

**高橋** 開設以来、月1回の症例検討会のほか、自動化による業務の効率化をケアの充実につなげるため、頻繁に話し合いを重ねながら業務改善を行ってきました。また、ごきそ腎クリニックが生寿会の透析クリニックのモデルになるんだという意気込みでレベルアップに取り組みました。そんな中で、患者さんから「ここに来てよかった」という言葉を聞くことができ、私たちが目指したものは間違っていなかったと確信できました。近い将来、ごきそ腎クリニックの看護について、セミナーや学会などでも発表したいと思います。

#### ごきその社 電子カルテ導入と認知症ケア・看取りケア

**酒井** ごきその社の取り組みとしてみずあげられるのは、電子カルテの導入です。使いこなすまでには時間が必要ですが、サービスの質を落とさないよう工夫しながら、本来の目的である施設間の情報共有化や効率化によるケアの質向上を早期に実現したいと思います。もう一つは生寿会として以前から力を入れてきた認知症ケアとターミナルケアへの取り組みです。難しい分野ですが、これからの方向性であることは間違いありません。多職種によるチームケアの文化が根付いていけば、この分野をリードする施設にもなれるでしょう。

**濱崎** 電子カルテ導入については、現場の混乱がないようしっかり準備をしました。実際に運用してみると、ごきそ腎クリニックとの情報共有がスムーズで有用性が高いと感じています。ターミナルケアおよび看取りについては試行錯誤の段階ですが、スタッフにも研修に積極的に参加してもらい、そこで得た知識やスキルを現場にフィードバックしながら全体のレベルアップを図りたいと思います。ご遺族からの「暖かい雰囲気の中で最期を迎えられて良かった」という言葉がスタッフのやりがいになっています。

**酒井** ご家族はいろいろな想いがありますから、施設での看取りについて納得していただくことは簡単ではありません。ご家族の意思を尊重しながら、繰り返し話し合いを重ねる必要があります。



介護老人保健施設ごきその社 施設長  
**酒井 宏**

「医療介護複合施設」は、生寿会が創る地域医療・地域ケアの新しい形です。長年親しんだかわな地区を離れ、新天地である「ごきそ」でのチャレンジにやりがいを感じています。



介護老人保健施設ごきその社 師長  
**濱崎 佐織**

ごきその社という新しいフィールドで右も左もわからない中で周囲の方々に助けられ、なんとか全体の流れができてきました。スタッフとご入所者と一緒に築いてきた1年だと感じています。



## メロウごきそ 医療ニーズと生活ニーズへの対応

**岡崎** 生寿会として初めての介護付有料老人ホームでしたから、家具の選定から言葉づかいまで、細部にわたって皆で検討を重ね、一つひとつ作り上げてきました。基本的には、「施設ではなく住まい」であるという考え方をすべてのベースにしています。ご入居者も自分の家という意識を持たれていますから、その気持ちに応えるサービスの提供、そしてメロウごきその特徴である医療面のサポートによる安心の提供が大切だと思っています。

**坂口** メロウごきそには要支援の方から要介護4、5の方まで、さまざまな方が入居されています。医療的な支援を求めている一方で、比較のお元気で余生を楽しく過ごしたいという方もいらっしゃいます。そういう意味で、スタッフには医療的な知識だけでなく、ご入居者の生活の楽しさを演出するスキルも必要になります。その方の生活背景やご要望に応じたサービスの提供を心がけていますが、まだまだ充分とは言えません。ただ、私たちが常に念頭に置いているのは、岡崎施設長も言ったように、「施設ではなく住まい」だということです。判断に迷った時には「住まいなん

だからこうしてあげよう」「こういうことでもいいんだ」と皆で話し合ってきました。

## 医療介護複合施設のメリットを最大限に発揮

—— 「医療介護複合施設」であることのメリットをどのようなところで感じますか。

**酒井** やはり3つの施設が情報を共有しながら、一体的にさまざまな管理や指導、ケアができることは大きなメリットです。特に重介護・重看護の方が多いので、もしも状態に変化があったときも同じ建物内に医師がいるという安心感はスタッフにとっても大きいと思います。

**岡崎** 医療介護複合施設は「選ばれる施設」のためのポイントであることは確かです。特にメロウごきその場合、多くの方が医療体制の充実を選択理由の筆頭に挙げておられますし、透析をされている方は同一建屋内のエレベーターで簡単に透析室に行き来できるので非常に喜ばれています。

**宮崎** 現在、ごきそ腎クリニックの患者さんの平均年齢は73.7歳で、全国平均の66.5歳を7歳上回っています。メロウごきその透析患者さんの平均が80.2歳、ごきその杜は平均84.2歳、通院患者さんだけをみても平均70歳ですから、いかに当施設が高齢者の透析医療を担っているかがよく分かります。これも医療と介護の連携の力にほかなりません。

**高橋** 先日、各施設の師長が集まって今後の連携や情報共有について話し合う機会を持ちました。2年目に向けてさらに連携を強化しようと取り組みを始めています。



介護付有料老人ホームメロウごきそ ホーム長  
**岡崎 玄太郎**

開設約1年前から亀井理事長、宮崎先生を中心としたプロジェクトチームによる打ち合わせを38回、建築・設計会社との工事打ち合わせを59回実施し、生寿会のモットーである多職種協働で準備を進めました。



介護付有料老人ホームメロウごきそ 師長  
**坂口 綾**

開設前にいろいろと準備したつもりでしたが、いざ動き出してみると準備不足を実感することが多く、介護経験の少ないスタッフには不安もあったと思います。周囲のフォローのおかげでここまで来ることができ感謝しています。

**酒井** これからはさらなる質の向上とともに、医療介護複合施設としての機能をより強化するためにも、かわな病院や各種在宅サービス、地域の医療・介護機関との連携システムを確立する必要がありますね。

## ■ これからのアズーリの丘ごきそ

—— これからの課題や目標をお一人ずつお願いします。

**宮崎** ごきそ腎クリニックの成果如何で生寿会の今後の透析の方向性が決まるという意気込みで、この1年間は新たなチャレンジと情報発信に力を注ぎ、手ごたえを十分に感じています。さらに完成度を高め、患者さんに成果を還元するためには、新技術や合理化の利点と欠点を見極めるとともに、スタッフのレベルアップを促し、チャレンジを楽しみながら問題意識を持って仕事をする文化を浸透させたいと思っています。

**高橋** 透析患者さんの高齢化に伴い、要支援・要介護の通院透析患者さんが増加しています。ケースワーカーやケアマネジャーとの連携を強化し、患者さんの生活全般を支える体制を確立する必要があります。通院が難しくなればショートステイやデイケアを利用しながら、さらには施設に入所しながら透析治療を続けられるように、地域全体の連携の輪を広げていきたいと思っています。

**酒井** 従来、老人保健施設は在宅復帰に向けた中間施設でしたが、現在は「終の棲家」として看取りを含めたケアのニーズが増しており、方向性は二極化しています。その中で、生寿会では透析はもとより、看取りケア、認知症ケアに力を入れていく方針です。ご家族を含めたチームケアの提供体制の整備を生寿会全体の共通問題として取り組む中でノウハウを蓄積し、地域に情報発信したいですね。

**濱崎** 私は働く人もケアを受ける人も幸せでなければよいサービスは提供できないと思っています。スタッフが働きやすい職場環境を整えること、また、スタッフそれぞれが目標を持ち、達成できるようサポートしていきたいと思っています。

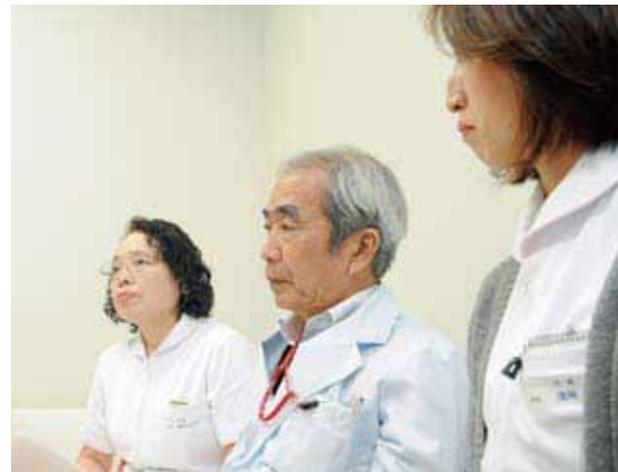
**岡崎** 継続的なサービスの提供のためには経営面の安定も不可欠であり、施設全体の事務長として「人・モノ・金」をバランスよく管理することを常に意識しています。10年後も選ばれる施設として存続するためにどうすればよいかという視点や意識を施設全体に

根付かせていき、アズーリの丘ごきそのサービス基準を確立したいと思っています。そのための研修や勉強会も企画し、マネジメントの立場からサービスの質の底上げを図っていきます。

**坂口** 開設から半年間はケアで精一杯でしたが、後半はスタッフもご入居者と一緒に行事などを楽しむ余裕が出てきました。うれしかったのは、行事を楽しみにされているご入居者のために質も量も落とさずとスタッフが言ってくれたことです。これからも楽しみや喜びを感じていただける支援を心がけるとともに、スタッフのスキルアップにも力を注ぎたいと思います。

—— 最後に、宮崎先生からアズーリの丘ごきその今後の展望についてお話しください。

**宮崎** アズーリの丘ごきそが「地域ケアの拠点」としての役割を果たすためには、地域の方々から親しまれる施設であることが重要です。昨年4月には認知症の講演会を開催し、地域の皆さん約120名がここに集いました。これからもリハビリや低塩食レシピ、慢性腎臓病(CKD)などをテーマに地域の皆さんが気軽に参加できる講演会を開催したいと思います。今年は「アズーリ夏祭り」を地域の方々にも開放したいですね。こうしたイベントの良さはスタッフも生き生きすることです。スタッフのやりがいやサービスの質に直結しますから、やる気を喚起する行事も企画していきます。その一つとして、「アズーリファミリーデー」の開催を考えています。スタッフの家族を招待し、仕事ぶりを見ていただきながら一緒に楽しい時間を過ごしたいですね。生寿会はもともと「人重視」の組織です。「ひとり一人を大切に」という理念をスタッフ自身が実感すること、それが質の向上へとつながると考えます。



4月

5月

6月

7月

8月

9月

メロウごきそ



**5月** ガーデニング  
青空の下、みんなで小さな庭作りに汗を流しました。収穫が楽しみ。



**6月** コーヒーショップへ  
雨の晴れ間においしいコーヒーをお目当てに、天池通りの「フランカ」へお出かけ。



**7月** 名古屋港水族館  
初めての外出はドキドキ・ワクワクで、笑顔がいっぱい!

**9月** 鶴舞公園で散歩  
秋晴れの一日、おやつ持参で散歩に出かけました。散歩中のワンちゃんとも仲良しに!



ごきその杜

**5月** 朝の体操、レクリエーション  
まだ慣れないご様子の皆さまですが、棒体操に真剣に取り組まれています。



**6月** 園芸レクリエーション  
丹精込めて育てたトマトが立派に成長。収穫がとても楽しみです。



季節を感じる行事やレクリエーションと一緒に楽しみましょう!



## 7月21日 アズーリの丘ごきそ合同夏祭り

3施設合同夏祭りを盛大に開催。初めての試みでしたが、ご家族もご参加いただき大成功でした。



**9月** 敬老会  
「三味線・琴」のボランティアの方の演奏に、大盛り上がりでした。

ごきそ腎クリニック



**3月** 3月1日開院  
電子カルテと透析支援システムによる業務の省力化で生まれた時間を患者さんのケアに集中。

快適で心地よい透析環境。風を感じず加湿の施された空間とやさしいLED照明です。



**6月** 全体会議  
毎月1回開催される全体会議では、業務の見直しや各委員会からの報告を行っています。

**9月** 県外からの見学者を案内  
名古屋市内だけでなく、県外からも多くの方が当院に施設見学に訪れています。





アズーリの丘ごきそが開設して1年。さまざまな出来事を通じて、利用されている皆さまとスタッフとの交流が深まり、笑顔の輪が広がっています。四季折々の行事やイベント、レクリエーション、そしてより良いサービスの提供を目指すスタッフの取り組みなど、アズーリの丘ごきその1年間を写真で振り返ります。



10月

11月

12月

1月

2月

3月



10月

**秋の遠足 甲羅屋本店と白鳥庭園**  
おいしい料理を満喫し、美しい庭園でひと息。さわやかな秋の1日でした。

12月 クリスマス会

ハンドベル、ビンゴ大会…。楽しい1日でした。



1月 新年会・初詣

メロウごきそで迎えた初めてのお正月。楽しいおしゃべりと歌でまた1年が始まります。熱田の杜へ初詣。ぴーんと張り詰めた空気の中でひとり一人が思いを込めて願いごと。

これからも皆さまに楽しんでいただける行事を企画していきます。



11月

**瑞雲保育園の園児との交流**  
園児たちの「歌とメッセージカード」とスタッフの劇「さるかに合戦」のプレゼントに涙ぐんで喜ばれる方も。



みんなで作ったクリスマスツリー。



12月

クリスマス会&お誕生日会

みんなで一緒に盛りつけをしたケーキに「美味しい」と笑顔。サンタがひとり一人の部屋を訪問してプレゼントを渡しました。

1月 元旦

スタッフの作った鳥居に参拝。笑顔で新年を迎えることができました。



1月

老人保健施設・通所リハ合同新年会・餅つき

昔ながらの杵と臼を使ってお餅つき。中にはご自分で餅をつかれる方も。



2月 節分・豆まき

「鬼は外、福は内」のかけ声とともに、赤鬼、青鬼のカゴめがけて豆の代わりにボールを投げました。

患者さんに最適な透析医療を提供するために、スタッフが協力し合っています。



11月 透析中にフットケアをしています

患者さんの足を守りQOLを保つうえで欠かせないケアです。

1月 院外のセミナーで発表

1月31日に第1回透析情報管理システムセミナーが開催され、システム連携について宮崎院長と臨床工学技士の中村主任が発表しました。



開設記念日 3月1日

朝礼の席で、宮崎先生と酒井先生が職員に向けて「1年間が経過しましたが、さらに心をひきしめて日々の業務にあたってください」と激励のメッセージを送りました。

宮崎先生のポケットマネーで、厨房、清掃職員を含めた職員全員に栄養ドリンクがプレゼントされました。



# みんなの 広場

アズーリの丘ごきそをご利用いただいている方々の趣味の工芸作品や写真、日常生活のひとコマをご紹介します。

## 刺しゅうとパッチワーク

花かごと小花のモチーフの額はリボン刺しゅう、クリスマスツリーのブローチはビーズ刺しゅうです。下に敷いたテーブルマットとピンクッションはパッチワークで作りました。



作品：ごきそ腎クリニックの患者さん。

## 創作粘土「あんちっく工芸」

樹脂粘土で型を作り、アクリル絵の具で色付けをします。教室で生徒さんに教えていた佐藤さん。手鏡やブローチ、ペンダントなど様々な



作品がありますが、どれも二度と同じものは作れないとのこと。

ごきそ腎クリニック  
佐藤 貴美さん

## 「紙ひも細工」

荷造り用の紙ひもで作ったペンギンと鶴。



作品：ごきそ腎クリニックの患者さん。

## 小さなおひなさま



つまようじ程の大きさのかわいいひな人形。材料は和紙、紙粘土、千代紙、折り紙、ビーズ、つまようじ。髪飾りはお正月の鏡餅の飾りを切って丸めました。人形のお顔は作り手に似るようですが、はたして…。

## 山中湖から臨む富士山



2007年2月撮影。  
撮影：ごきそ腎クリニックの患者さん。

## 仲良し6人グループの心温かい絆

「あ～あ、また負けちゃったよ～お。ビリだわ!」「あら～うれしい!今日は運がついて、一番がこれで3回よ!」悲喜こもごもに黄色い歓声が6階ホールを包む。熟女たちの日で一番楽しい午後の日課「トランプゲーム」のひと時である。

メロウごきそに入居するまで、母、妻、心優しい女性としてそれぞれに人生を築いてきた5人の熟女と1人の好々爺の心温まる結束の輪が広がり、互いに気遣い合うグループが形成された。



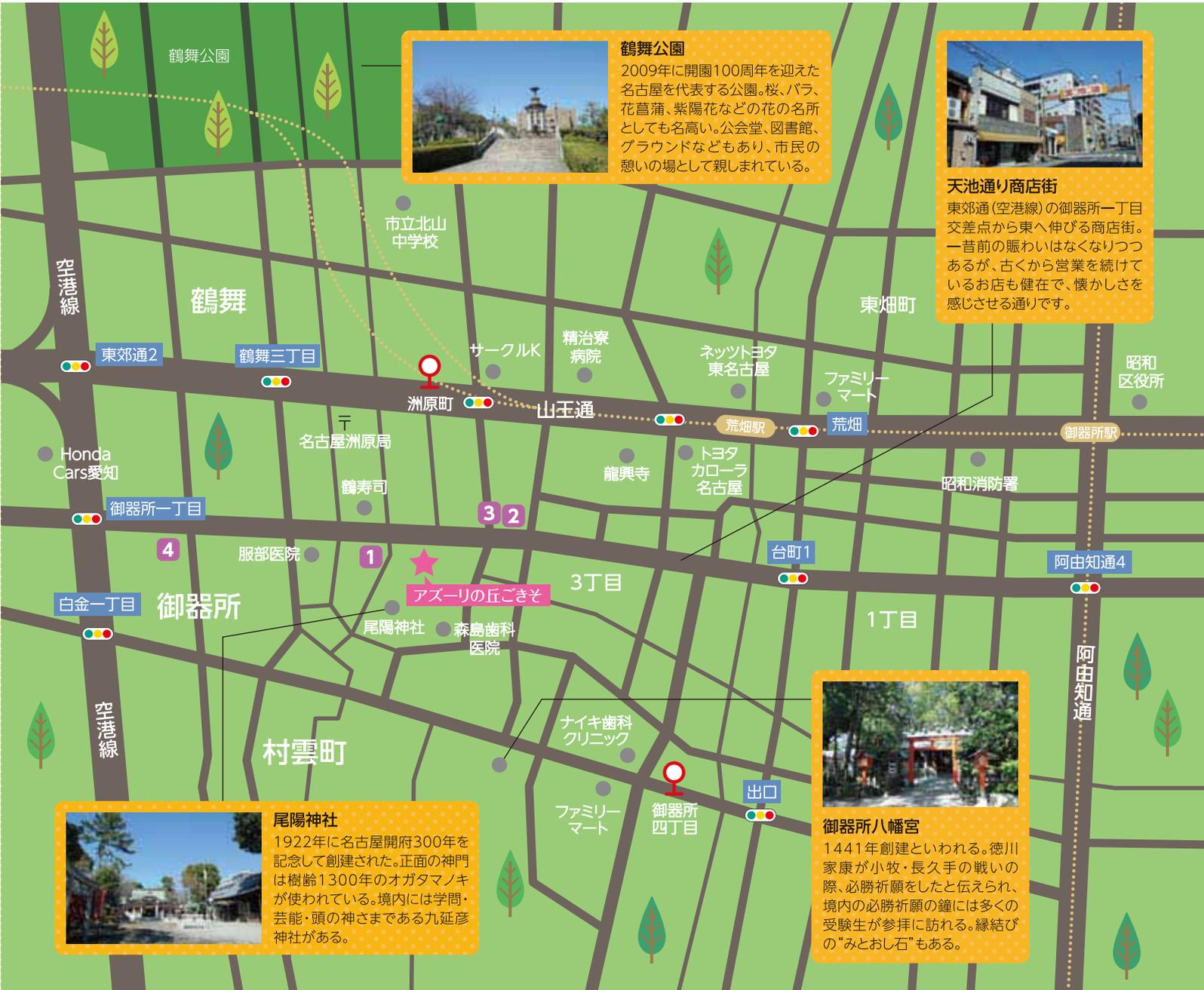
6人は毎日を楽しく暮らしながら、余技として書道、フラワーアレンジメント、連想ゲーム、漢字の部首ゲームなど、ちょっぴり知性とユーモア、ライフスタフィルのセンスなどを持ち合わせているのが、グループを楽しく進化させている。願わくは健康第一をモットーに、お互いをいたわり合って未長く良い関係を継続させてゆきたいと念じている。

メロウごきそ  
福田 祐三さん(写真右端)

## メロウ短歌

ホームではやさしき友に恵まれて 日々の暮らしが楽しくなりぬ  
三人の看護師さんの気配りと 素早い手当てに暮らし安心  
先生の心を込めたりハピリで 足の痛みも少し和らぐ

メロウごきそ  
なつめ作



**鶴舞公園**  
2009年に開園100周年を迎えた名古屋を代表する公園。桜、バラ、花菖蒲、紫陽花などの花の名所としても名高い。公会堂、図書館、グラウンドなどもあり、市民の憩いの場として親しまれている。

**天池通り商店街**  
東郊通(空港線)の御器所一丁目交差点から東へ伸びる商店街。一昔前の賑わいはなくなりつつあるが、古くから営業を続けているお店も健在で、懐かしさを感じさせる通りです。

**御器所八幡宮**  
1441年創建といわれる。徳川家康が小牧・長久手の戦いの際、必勝祈願をしたと伝えられ、境内の必勝祈願の鐘には多くの受験生が参拝に訪れる。縁結びの"みとおし石"もある。

**尾陽神社**  
1922年に名古屋開府300周年を記念して創建された。正面の神門は樹齢1300年のオガタマノキが使われている。境内には学問・芸能・頭の神さまである九延彦神社がある。

## ◆ おすすめのお店紹介 ◆

**1 喫茶フランカ**

プロがいれる珈琲の味をお楽しみください。  
昭和の香りがするレトロな喫茶店。珈琲専門商社で45年間勤めたマスターが丁寧にいれる珈琲はプロの味! 定食に添えられるママさん手作りの小鉢も常連さんから人気が高い。どれを選ぶか迷うほど特製メニューが豊富です。  
【営業時間】 平日/AM6:00~PM7:00  
日祝/AM6:00~PM6:00

**2 天池ホーム薬局・天池ケアサポート**

健康や介護についてお気軽にご相談ください。  
天池通り商店街の西に古くからあった薬局が旧天池市場跡に引っ越しました。処方せん調剤、一般医薬品の販売、在宅訪問、ケアプラン作成等幅広く行ないます。アズーリの丘ごきその皆様のお薬の管理もしております。  
【営業時間】 平日/AM9:00~PM8:00  
土 /AM9:00~PM4:00  
【定休日】 日曜・年始

**3 いかだ屋**

商店街名物、お好み焼き・焼きそば・みたらしのお店です。  
天池通商店街でお店を構えて38年目。焼きたてのお好み焼きの匂いに誘われてアズーリの丘ごきその職員も買いに走る。岐阜県や三重県、遠くは東京から昔の常連さんが懐かしがって立ち寄る、知る人ぞ知るお店です。  
【営業時間】 平日/AM10:30~PM6:30  
日祝/AM10:30~PM6:00  
【定休日】 水曜日

**4 荒川写真館**

ご家族の記念日や人生の節目に本格的なスタジオ撮影はいかが?  
お宮参り、七五三、入学、卒業、成人式、結婚記念日、還暦——。創業80年の写真館にはたくさんの家族の歴史が刻まれています。海外直輸入のお洒落な撮影小物やフレーム。自然光を生かした明るいベビースタジオも大人気!  
【営業時間】 AM10:00~PM6:00  
【定休日】 水曜日(水曜不定休)  
※土日の撮影は早めにご予約を

第1弾

2013年で最も運の強い人を決める  
「じゃんけん大会」

全スタッフ87名が3つのブロックに分かれ、トーナメント方式で熱い闘いを繰り広げました。三つ巴の決勝戦を逆転勝ちで制したのは、Aブロックを勝ち上がった前原かおりさん。職員の中で一番強運の持ち主です。必勝祈願、合格祈願、宝くじを買う前には前原さんとの握手を忘れずに!



優勝者

おめでとうございます!

通所リハビリテーション  
前原 かおりさん (Aブロック代表)

まさか優勝できるとは思いませんでしたので本当に驚いています。皆様からパワーをいただいたおかげです。ありがとうございました。

賞品 名古屋国際ホテル食事券、賞状、メダル



惜しくも決勝で敗れたのは……

メロウごきそ

松岡 航さん  
(Bブロック代表)

ごきその杜

田中 里美さん  
(Cブロック代表)



第2弾

アズーリランキング

投票によるランキングを実施。ただし自分が所属する部署以外のスタッフへの投票がルールです。見た目?で選んだ結果は……。

投票用紙配布総数: 75枚

回収枚数: 58枚  
(回収率79%)



アズー리를愛している  
(愛してそうな)人ランキング

1位

宮崎 高志先生 ..... 23票

賞がいただけるなんて  
光栄です。



2位

岡崎 玄太郎 事務長 ..... 19票

3位

酒井 宏先生 ..... 5票

名実ともにアズーリ立上げメンバーのワンツーフイニッシュ。今後、この二人に負けず、アズーリをこよなく愛するスタッフが増えることを期待します!



やさしい(やさしそうな)人  
ランキング

1位

酒井 宏先生 ..... 16票

からかわれている感じが  
します(笑)。ありがとう。



2位

宮崎 高志先生 ..... 4票

3位

大矢 若菜さん 3票 柘植 淳一主任 3票  
坂口 綾師長 3票 小出 緑先生 3票

酒井先生のやさしさが数字になってははっきりと表れた結果となりました。皆さん年齢を重ねないとしばらく追いつけそうにありませんね。



誠実な(誠実そうな)人  
ランキング

1位

坂口 綾師長 ..... 7票

うそでしょ?



2位

酒井 宏先生 ..... 6票

3位

吉野 聡主任 ..... 5票  
柘植 淳一主任 ..... 5票

「一票の重さ」を知る結果となりました。4位以下も一票差が続きましたので、アズーリには誠実な人がたくさん存在することがわかりました!

賞品

1位の人(ただし医師以外)には、名古屋国際ホテル食事券、賞状、メダル

編集後記

1周年記念誌制作委員会



1年間の取組みとアズーリのこれからの皆様にお伝えできる楽しい記念誌ができました。

アズーリの丘ごきそ 事務長  
岡崎 玄太郎



記念誌制作に携わることで他部署、他職種の方と関わりが持て、とても貴重な経験ができました。

ごきそクリニック  
佐藤 麻浦



記念誌制作委員会への参加をきっかけに、アズーリをより良い施設にできるよう、初心を忘れず頑張ります。

ごきその杜  
高木 照邦



社会人1年目です。記念誌制作を通じてアズーリを深く知ることができ、楽しく参加させていただきました。

ごきその杜  
大野 愛実



3月にOPENして、あっという間に1年が過ぎました。記念誌の制作に参加できて光栄です。

メロウごきそ  
加納 千恵